

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	I 1	事業所が入居者介護を提供するうえで運営理念は絶対ですが、人員の入れ替わりもある中で、運営年数が経つにつれて、薄れてきている可能性がある。	事業所職員全員が運営理念に沿った介護を入居者に提供することができる。	①毎月の定例会で唱和する ②日々の介護提供の時に、運営理念に沿っているか振り返る。 ③定例会で振り返り、評価おこなう	12ヶ月
2	IV 18	入居者の重度化、感染症に対してのリスクを重視した対応が日常化し外出機会が減ってしまった。日々、入居者はリビングと居室の往来生活が多く、職員も外に出る機会を設け発想がない状況である。	入居者の希望または、職員の介入によって、日常的に外にまたは出かける機会を設けることができ、地域との人々と触れ合うことができる。	①年間計画作成(季節行事・外出・誕生日会) ②月・週間計画の作成(イベント・外出・散歩) ③朝礼で人員配置確認し、日々の中で可能な事から行う事で意識し日常化を目指す。	24ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。